

横浜市立旭学校 平成31年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
あかるく さわやか ひとみきらきら あさひっ子	《主体的に学び続ける力》 《思いや考えを表現する力》 《よりよい社会の実現を目指す姿勢》

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○《安心》《つながり》を大切にし、児童が自分の思いや願いを実現させることができる学校をつくりまします。 ・児童が自己有用感をもって安心して自分らしさを発揮できるよう、チームで一人ひとりをていねいにみとり支援します。 ・防犯・防災や、児童の安全を守る視点から危機管理体制を整えるとともに、児童の安全に対する意識を高めます。 ・思考力、表現力の育成に力を入れ、「話し合い活動」など児童同士がつながり、深め合う学習を大切にします。 ・児童が自らの成長を自覚しながら規範意識を高めていくことができるよう、異学年での交流機会を多く設定します。 ・保護者と学校とがより密接につながり、楽しく協働しながら子どもを育てていけるようなシステムづくりを進めます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

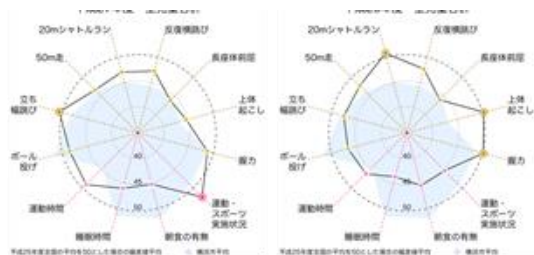
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①年間2回の学校保健委員会で「目標設定・各学級での実践・まとめ」を計画的に行うことで、児童が健康を自分事として捉え、自分の生活習慣を見つめ直す機会とする。 ②一校一実践運動の中で「集団での遊び」や「1人でできる遊び」を紹介したり、各種運動週間を設けたりして運動への関心を高める。
担当	体育部

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- 新体力テストの結果は、全体的に市平均とほぼ同等である。
- 休み時間に外遊びをする子が多い。しかし、人数に対する遊ぶ空間（運動場・中庭）は十分でなく、引き続き安全面における指導が必要である。
- 給食の摂取状況は、比較的良好に摂取できている。
- 野球、サッカー等の地域のスポーツクラブに所属している児童は多いが、男子の所属数に比べ、女子の所属数は少ない。

(2) 体力の概要と要因の分析



新体力テストの結果から、ほとんどの項目が全国平均、市平均と同等の記録が出ているが、ソフトボール投げ、20mシャトルランについては、下回る学年が多い。投能力については、運動経験の少なさが影響しているものと思われる。

3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ◇運動の特性を明確にし、子どもたちが楽しみながら運動に取り組むことができるように、授業づくりを工夫していく。
- ◇学び合いを大切にし、お互いのよさに気づき、共に高め合っていこうとする態度を育てていく。
- ◇養護教諭や栄養士の協力も得ながら、保健学習を計画的に行っていく。
- ◇新体力テストの結果を分析し、経年変化も踏まえながら、カリキュラム・マネジメントに生かしていく。

《他教科での取組》

- ◇家庭科では、食事の大切さや快適な生活の仕方を指導する。
- ◇国語科、社会科、理科、生活科、道徳等では、生命の尊さについても指導する。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科で培った資質能力をさらに発展させた種目を設定したり、運動する楽しさを感じることでできる種目を設定したりして、みんなで運動を楽しむ機会とする。
- ・保健委員会では、児童の健康面での課題を洗い出し、学校保健委員会の取り組みにつなげ、学校全体で児童の健康・体力の増進に取り組んでいく。
- ・運動委員会では、長縄集会やマラソン週間等、児童が運動に親しむ機会を設定していく。
- ・給食委員会では、栄養のバランスを考えた食事の大切さを伝える活動を行う。

課外活動

- ◇夏季特別水泳教室
- ◇学校保健委員会

平成31年度 旭小学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 持続可能な運動に親しむ活動の充実

《ねらい》 運動機会の確保、教員の指導力向上

《内容》 体育的活動を運動委員会や保健委員会の児童が企画・運営し、内容と取組の充実を図り、運動の楽しさを味わわせ、体力の向上を図る。

(行事例) 前期：長縄集会、新体力テスト週間

後期：運動会、長縄集会、マラソン週間

- 指 標： ①活動後の振り返り 「事前取組」「満足度」
②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。